

永遠の契約の血による羊の大牧者

ヘブル人への手紙 13 : 20~21

■新改訳聖書では、次のように訳されています。

20 永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、

21 イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行い、あなたがたがみこころを行うことができるために、すべての良いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。

■できるだけ原語の順番で、直訳の日本語を置いてみると、次のようになります。

20 さて、平和の神が、死者の中から導き出された、牧者を、羊たちの、大いなる、永遠の契約の血による、私たちの主イエスを

21 あなたがたを完全な者としてくださいますように、

すべての良いことにおいて、(あなたがたが) 神のみこころを行うために

あなたがたの中で働いてくださる、ご自身の良き喜びから発して、ご自身の視点に立って、イエス・キリストを通して

この御方(イエス・キリスト)に、栄光が世々限りなくありますように。アーメン

■解説

1. 主語は「平和の神」、父なる神です。それにつながる述語は 21 節の「あなたがたを完全な者としてくださる」です。
2. 20 節では、父なる神がどういうお方を説明しています。私たちの主イエスを死者の中から導き出されたお方です。
3. そして、主イエスについての説明もされます。大いなる牧者であること、私たち信者はその牧者のもとにある羊であること、主イエスが大いなる牧者になられたのは、永遠の契約、すなわち旧約聖書で預言されていた「新しい契約」(エレミヤ 31 : 31~34) をご自身の血をもって成立させたからであることが説明されています。
4. 「完全な者」とは、信者が信仰生活の中で成長し、霊的な「幼子」(5 : 13) から霊的に成熟した「おとな」(5 : 14) になるということです。父なる神は私たち信者を成長させてくださいます。21 節ではそのことについて、4つの項目で説明されます。
 - (1) その範囲は、すべての良いことにおいて、です。
 - (2) そのゴールは、私たちが神のみこころを行うことです。
 - (3) その働きは、神が私たちの中でなさること、しかも、神は私たちを愛し喜びながら、それをしてくださいます。そして、神の御前で=神の視点に立って、です。
 - (4) この働きの仲介者は、イエス・キリストです。